

題材 「長さが気になるな、比較マスター」 3時間中の第3時

(1) 学習のねらい

どちらが長いのか比べようとした子どもたちが、ナイロンテープを通して、それを使えば曲線や長い線でも長さを測れることに気づき、ナイロンテープを使えばどんな長さや曲線でも早く簡単に比較できると知ることができる。

(2) 本時の学習材

ナイロンテープ

○子どもたちは、直線と曲線の長さを比較する中で、直線と同じものを使って曲線も何個分で比較することができなくなるだろう。そのような意識を捉えたところで、本学習材を提示する。

○本学習材はナイロンテープである。曲線と長い直線を比較したい子どもたちは、ナイロンテープを使ってどんな比較方法があるのか考え始めるだろう。

さらにナイロンテープを使えば曲線の長さを知ることができると期待をふくらませていくだろう。

このように、ナイロンテープを使えばどんな長さや曲線でも早く簡単に比較できると知ることができる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 直線と曲線の長さを比べてみる	<p>学習問題</p> <p>-----</p> <p>どうしたら、どんな長さや曲線でも早く簡単に比較できるかな</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磁石いくつかで考えればいいよ ・鉛筆いくつかでもいいと思う ・ロープでやればいいと思う <p>○磁石でも鉛筆でも比較できないね</p>	5'	<ul style="list-style-type: none"> ○印刷した直線と曲線ではどっちが長いのか発問する ・いくつかで比較したい子がいたら前に出てきてやってもらう ・ロープで比較したい子がいたら発言は聞いて、学習材提示の後に前でやってもらう（机の上に紙を置いて）
展開	2 ナイロンテープを使ってどんな比較方法があるのか考える	<p>学習課題</p> <p>-----</p> <p>ナイロンテープを使ってどんな比較方法があるのか考えてみよう</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲線に合わせて切ったナイロンテープと直線に合わせたナイロンテープを2つ比較すればいいと思う ・曲線に合わせて切ったナイロンテープを直線の下に持って行って比較すればいいと思う ・2グループはそうやって比べたのか <p>○なるほど、ナイロンテープを使えば曲線や長い直線を比較できるね</p>	30'	<ul style="list-style-type: none"> ○このナイロンテープを使って比較できないか発問する ・1班1枚、縮小した紙を分けて班の中で考える ・どんな比較方法が出たのか発表してもらう ・実物投影機で方眼用紙を電子黒板に映す ・他のグループの人に考えを教えてあげる
終末	3 今までのやり方とナイロンテープではどう違うかな	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかでやるよりも簡単に比較できたよ ・手で比較するより正確だと思う <p>○ナイロンテープを使えば早く簡単に比較することが出来るね</p>	10'	<p>学習材</p> <p>-----</p> <p>ナイロンテープ</p> <p>-----</p> <p>評価</p> <p>-----</p> <p>ナイロンテープを使えばどんな長さや曲線でも早く簡単に比較できると知ることができたか、発言や活動の様子から評価する。</p>